

公開シンポジウム

地球環境変動の時代における陸域・土地利用研究の役割と展望

主催：日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会

2026年9月7日(月)
13:30 ~ 17:00

オンライン開催 どなたでも
参加できます
参加費無料 事前参加申込制
申込期限 9月5日(日)



13:30 開会挨拶 春山 成子 (三重大学 名誉教授)

13:35 趣旨説明 大黒 俊哉 (日本学術会議 連携会員/東京大学 教授)

セッション1：講演「地域からみる土地システムの変化と社会・自然の構造」

サブセッション 1-1：自然変動と生態系応答

13:40 「フェノロジーと土地利用土地被覆の変化」

奈佐原 顕郎 (筑波大学 准教授)

13:55 「乾燥地の植生とダスト発生：放牧地管理からみる大気と陸域の繋がり」

甲野 耀登 (東京大学 助教)

サブセッション 1-2：社会経済変動と土地利用再編

14:10 「ニジェールにおける都市ごみを使った緑化—都市と農村の有機物循環」

大山 修一 (日本学術会議 連携会員/総合地球環境学研究所 教授/京都大学 教授)

14:25 「アフリカ都市周縁部の土地利用再考—建材生産・供給の場としての周縁部という視点」

中垣 太樹 (京都大学 博士課程)

サブセッション 1-3：土地劣化と回復をめぐる制度と地域社会

14:40 「森と人のつながりの共創」

石原 正恵 (京都大学 准教授)

14:55 「「保護区」は何を保護しているのか？—インドの経験から」

木本 浩一 (関西学院大学 教授)

15:10 「牧養力評価と放牧管理の制度的課題—気候変動や放牧強度の影響を踏まえて」

王 勤学 (国立環境研究所 特命研究員)

セッション2 総合討論「陸域システム・土地利用研究の到達点と次の課題」

15:40 パネリストによる討論

パネリスト：柿沼 薫 (東北大学 准教授)・講演者

司 会：大黒 俊哉 (日本学術会議 連携会員/東京大学 教授)

16:35 総括コメント

三枝 信子 (日本学術会議 副会長/国立環境研究所 理事)

大崎 満 (北海道大学 名誉教授)

16:55 閉会挨拶 氷見山 幸夫 (北海道教育大学 名誉教授)

後援

Global Land Programme(GLP) 日本拠点オフィス
地理学連携機構 総合地球環境学研究所 日本アフリカ学会 日本沙漠学会

